

中部電力パワーグリッド(株) 岐阜支社

岐阜市・電気事業

従業員数／男性1,088名 女性167名 計1,255名 ※令和4年11月現在

エクセレント
POINT

- ①コアタイムのないフレックスタイム制や断続勤務の導入
- ②「1on1ミーティング」によるコミュニケーションの強化
- ③柔軟度を高めた育児休職制度の整備



「1on1ミーティング」では、「短時間・高頻度」による対面型面談をベースとし、定期的・継続的に実施。コミュニケーションの充実だけでなく、従業員の成長にもつながる。

中部電力パワーグリッド岐阜支社では、「従業員がいきいきと働くためには、職場環境の整備だけではなく、ライフ（生活基盤）の充実が必要」の考え方のもと、「ライフ・ワーク・バランス」を実現すべく、一人ひとりが元気でしなやかに働くことができる環境整備を推進している。

フレックスタイム制度では「コア

タイムを廃止」し、「断続勤務」や「出社・出張と在宅勤務の併用」を可能とすることで、労働時間の選択の自由度を高めている。また、チケットができる就業場所の範囲拡大による移動・通勤時間の削減、時間の有効活用についても取り組みを進め、従業員からは「業務に合わせた勤務時間設定ができる」「メリハリのある勤務ができる」「コアタイムの廃止により通院がしやすくなった」との声があり、自らのライフスタイルに合わせ、これらの制度を積極的に活用している。

働き方の柔軟性が増すと、顔を合わせて働く機会が少なくなることから、コミュニケーションの機会の確保と充実を目的に「1on1ミーティング（1対1で行う対話）」を導入し、業務の相談や雑談など気軽に話せる機会を作り、コミュニケーション不足の解消にも努めている。

また、2022年10月の育児・介護休業法の改正を契機に、育児休職制度を充実させ、仕事と育児の両立による更なるライフ・ワーク・バランスの実現と、男性育児休職の取得促進を図っている。

今後も従業員が柔軟な働き方を選択できる環境構築に努め、全ての人財が能力を最大限発揮できる「働きがい」のある職場づくりを積極的に進めていく構えだ。



「フレックスタイム制度」では、「在宅勤務」と「断続勤務」の併用により、今まで以上に仕事と家事が両立しやすい環境となっている。

ライフ・ワーク・バランスの推進に向けた取組みを強化